

(保育所版)

(別記)

福祉サービス第三者評価結果公表事項

①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

②施設・事業所情報

名称：内子保育園	種別：保育所	
代表者氏名：園長 宮岡 祥生	定員（利用人数）： 80（90）名	
所在地：愛媛県喜多郡内子町内子2202番地		
TEL：0893-44-3031	ホームページ： https://www.town.uchiko.ehime.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 昭和38年1月1日（平成21年4月1日内子町より移管）		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 内子町社会福祉協議会		
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員 7名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 17名 栄養士 1名	
	調理師 2名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室4・乳児室・医務室・調理室	木造平屋建て

③理念・基本方針

<理念>

子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。

<基本方針>

心と身体の自立を促す保育

④施設・事業所の特徴的な取組

内子の町並みに馴染んだ木造の園舎で、平成21年に内子町から社会福祉法人内子町社会福祉協議会に移管される。午後7時までの延長保育や積極的な園児の受入れを行い、地域の保育ニーズに役立っている。

また、子どもたちが地域の豊かな自然の中で様々な経験を重ね、様々な人との出会いや関わりを大切にしながら、主体的に育つ保育環境づくりの充実に努めている。

(保育所版)

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年5月9日（契約日）～ 令和元年10月3日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2回（平成24年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

平成21年に内子町から移管され、基本理念のもと「子ども一人ひとりを大切に」しながら、地域の保育ニーズに応じた民間保育所ならではの柔軟な対応に努め、地域に根ざし愛される保育園づくりに取り組んでいる。

今回の第三者評価受審に際して、当園の中・長期計画が策定され、園としての方向性や目標を明確にした。また、園長のリーダーシップのもと、職員一人ひとりが振り返り（自己評価）を行い、その過程で得た気づきや課題をPDCAサイクルの体制に基づく組織的な話し合いや学び合いにつなげたことは、保育サービスの質の向上に向けた当園の努力として高く評価したい。

◇改善を求められる点

中・長期計画に具体的な数値目標や成果等を設定し、実施状況の評価・見直しを行うとともに、キャリアパスの明確化や目標管理等を行い、職員一人ひとりが自らの将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりを期待したい。

組織としての評価体制を整備し、課題の分析や改善への取組みが計画的・継続的に行われることを期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

前回の受審より7年が経ち、経験した職員もその立場を変え、また初めて受審にあたる職員も多くいる中で、自分たちの園の現状を振り返るとともに、これから先の方向性について考える機会となりました。

今回評価をいただいたことで、新たな課題を見つけることができました。同時に園の良さを再発見することができ、若い職員集団としましては貴重な経験となりました。今後はいただいた課題を踏まえ、中・長期計画を土台として、子どもたち一人ひとりの強く・太い根っこを育むことができる特色ある保育を目指していきたいです。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 理念・基本方針が明文化され、職員や保護者等に周知が図られている。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 法人や自治体と連携を図りながら、事業の動向や保育ニーズ等の把握に努めている。今後の経営状況に関する把握・分析の取組みに期待したい。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 経営状況や経営課題を職員に周知するとともに、法人と連携した経営課題に対する具体的な取組みに期待したい。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 今回、園長を中心に中・長期的なビジョンや方向性を明確にした園の中・長期計画が策定され、職員にも周知されている。今後、具体的な数値目標や成果等を設定し、実施状況の評価・見直しを期待したい。		

(保育所版)

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>中・長期計画に基づいた単年度の計画が策定され、職員にも周知されている。今後、具体的な数値目標等を設定した計画の策定を期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>今年度から事業計画を策定し、実施状況の把握や評価・見直しについて、組織的に進めるよう体制の整備を進めている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者等に口頭で事業計画を周知している。今後は、より丁寧でわかりやすい説明の工夫を期待したい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>個々の職員による定期的な自己評価が行われている。今後、園全体での評価体制を整備し、保育の質の向上に向けた取組みを期待したい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果に基づき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員会で自己評価から抽出した課題や反省点を話し合い、改善に向けて努力している。今後、自己評価や第三者評価結果に基づく課題の分析や改善への取組みが、計画的・継続的に行われることを期待したい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>園長の役割と責任を明確にし、職員にも適切に伝えている。有事における園長の役割と責任や不在時の権限委任等も明確にしている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>園長は、遵守すべき法令等に関する研修や勉強会等に参加し、正しい理解に向けた取組を行っている。今後、職員への周知や職員が十分に理解できるための取組を期待したい。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりの保育実践の現状について評価・分析し、課題を把握する機会を定期的に持ち、改善へ向けた取組を行っている。また、その取組みが保育の質の向上において、園全体での組織的な取組みや体制づくりにつながるよう指導力を発揮している。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>コスト削減等について職員間で話し合い意識を高め、業務の実効性向上のためのICT(情報通信技術)導入についても、法人と連携して進めていくことを検討している。理念・基本方針の実現に向けて多角的な視点から検証し、職員全体で経営の改善や効果的な業務の実現を目指すための指導を期待したい。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>中・長期計画のなかに今後を見据えた人材確保や育成に関する計画が策定され、魅力的な職場づくりに取り組んでいる。理念・基本方針、事業計画を実現するための人材確保や育成に関して、法人と連携し、組織としての具体的な計画の策定を期待したい。</p>		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>園としての「期待する職員像」が明確にされている。総合的な人事管理のもと、職員一人ひとりが自らの将来を描きながら、キャリアを重ねていける仕組みづくりを期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>働きやすい職場づくりに向けて、職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みがある。その結果を分析・検討し、職場環境の整備に努めている。今後、法人と連携し、組織としてのサポート体制づくりや具体的な取組みを期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりの目標設定や評価・振り返りが行われ、面談等で確認が行われている。今後、職員個々の目標管理について組織としての仕組みづくりを期待したい。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員のキャリア等に応じた体系的な研修計画が策定され、計画的に実施されている。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員の知識や技術・経験等に応じて、研修の機会が確保されている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>マニュアルに沿って実習生の受入れが行われ、積極的に教育・育成に取り組んでいる。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>法人の理念・基本方針がホームページ等に明示され、園便り等を地域に配布し保育園活動の周知が図られている。今後は、保育内容や事業計画・事業報告の公開と予算・決算情報の更新に取り組むことに期待したい。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>法人内の監査を行い、経営改善に努めている。今後は、経営の透明性を確保するための外部監査の実施を期待したい。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>内子町全体で取り組んでいる環境活動の一環で、地域の商店街の見学や町並み保存地区の住民に地域の伝統等について話を聞くなど、「地域に愛される保育園を目指す」という保育理念のもと、地域との交流を積極的に行っている。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>ボランティア受入れマニュアルに基づき、主任保育士を窓口として、積極的な受入れを行っている。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>必要な社会資源を明示したリストや資料を作成して、職員に周知している。日頃からネットワークづくりを心がけ、問題や相談等があった場合に適切な連携が取れる体制が整備されている。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉠・b・c
<コメント> 地域行事等への積極的な参加や園の開放など、地域との交流を通じて、地域の福祉ニーズを把握するための取組を行っている。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	㉠・b・c
<コメント> 子育て支援センターと連携して園の開放を行い、必要に応じて相談を受ける等、地域の各関係機関と連携しながら、地域のニーズに基づいた事業・活動に取り組んでいる。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 保育理念に「一人ひとりを大切に」という子どもを尊重した保育の基本姿勢が明示されている。一人ひとりの子どもの尊重や基本的人権への配慮について、園内での共通理解をもつための積極的な取組を行っている。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	㉠・b・c
<コメント> 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアルが整備され、職員間で共有している。標準的な実施方法に基づき、プライバシーに配慮した保育が実施されている。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉠・b・c
<コメント> 利用希望者に対して、見学の随時対応や案内資料を配布する等、積極的な情報提供を行っている。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	㉠・b・c
<コメント> 入園のしおりや重要事項説明書等を活用して、丁寧にわかりやすく説明している。		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>転園・退園後は、口頭での引き継ぎや保護者等が相談できるように声かけを行っている。今後は、保育の継続性に配慮した手順や引き継ぎの文書化を期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>日常の連絡や懇談会・保護者会、意見箱の設置等、様々な機会を通して、意見や要望等の把握に努めている。今後、把握した内容の分析・検討を行い、具体的な改善に反映させる仕組みの整備に期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>苦情解決の体制が整備され、文書の配布や掲示で保護者に周知されている。苦情解決や意見・要望の内容への対応が組織的に行われている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者からの相談等を受ける時間や場所、誰にでも相談できる環境を整備し、年度当初の全体説明会で保護者に向けて周知している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>相談対応マニュアルに沿って、全職員が迅速に対応できるようにし、保育の質の向上につなげている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>リスクマネジメント体制を整備し、ヒヤリハット報告の要因分析やチェックシートで毎月の振り返りを行い、職員間で情報共有しながら安心・安全な保育の提供に努めている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>感染症対応マニュアルに基づき、衛生管理や発生時の対応、保護者への周知等が迅速に行われている。</p>		

(保育所版)

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>災害の様々な場面を想定した災害対応マニュアル、法人全体の事業継続計画が整備されている。昨年度から災害時等のメール配信システムを導入し、子どもの安全確保のための取組みを組織的に行っている。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>年齢に応じた標準的な実施方法が文書化され、全職員に周知して、実施方法に基づいた保育の提供を行っている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>職員は、標準的な実施方法が記載された文書をいつでも活用でき、職員会やケース会議等で文書内容の確認を行っている。今後は、実施方法の定期的な検証や必要な見直しを行う時期等を検討し、組織としての仕組みづくりを期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>決められた手順で適切なアセスメントが行われ、指導計画が策定されている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>指導計画の評価・見直し、計画に基づく保育実践の振り返りや評価が定期的に行われ、職員に周知されている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>決められた様式に基づき記録が適切に行われ、必要に応じて職員間で共有されている。</p>		

(保育所版)

45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
<p><コメント> 個人情報保護規程に基づき、文書等の情報の取扱い・保存等について管理体制が確立されている。</p>		

A-1 保育内容

1-(1) 保育課程の編成

	第三者評価結果
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・ ⓑ ・c

所見欄

保育課程は、保育理念・保育方針や目標に基づき、保育に関わる職員の参画のもとで子どもの心身の発達等を踏まえながら、全体的な計画の編成と定期的な見直しが行われている。見直しで課題となった全体的で一貫性のある計画の策定に向けて、組織的な創意工夫を期待したい。

1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	ⓐ ・b・c
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	ⓐ ・b・c
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	ⓐ ・b・c
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	ⓐ ・b・c
A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ ・b・c
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ ・b・c
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ ・b・c
A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ ・b・c
A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ ⓑ ・c
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	ⓐ ・b・c

所見欄

町並みに馴染んだ木のぬくもりのある園舎で、子どもたちが心地よくゆったりと過ごし、主体的な遊びや活動ができる環境づくりの充実に努めている。「子どもたちのくつろぎ」を研修テーマとして、園内外の環境の見直しを行い、保育室のコーナーづくりや広い廊下を利用した絵本コーナーの設置等、各所で創意工夫が凝らされている。

一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態や発達に応じた援助に努めている。自己チェックシートを活用し、各年齢担当に分かれた乳児会・幼児会での話し合いで、振り返りや評価・反省を行っている。

基本的な生活習慣の習得にあたっては、一人ひとりの子どものやってみようとする気持ちや意欲を大切にしている。絵カードを積極的に活用して、子どもへ視覚的に伝える工夫を行い、標準化した手順や方法で職員が連携して関わるなど、生活習慣を身につけられるよう配慮している。

乳児保育においては、一人ひとりの子どもがゆったりとした雰囲気の中で、安心して生活し、安全に探索活動のできる環境の整備を保育士等が連携して行っている。

1・2歳児の保育においては、一人ひとりの子どもが歩行や探索活動を十分にできるような環境整備を工夫している。また、子どもの自分でしようとする気持ちや思いを受けとめ、保育士等が丁寧に関わるように努めている。一人ひとりの心身の状態が把握できるよう、毎日の連絡帳等を活用して、家庭と連携した取組みや配慮を行っている。

3歳以上児の保育においては、集団の中で一人ひとりの子どもが自分の力を発揮し、友だち等と関わりながら、意欲的に遊びや活動に取り組むことのできる環境の整備や援助を行うように努めている。

障害のある子どもの保育においては、子どもの理解に向けた職員研修を行い、家庭や関係機関と連携しながら、個別支援計画のもと、子どもが安心して生活できる環境を整備している。

長時間保育では、畳の部屋でくつろげ、休息ができるよう配慮している。子どもの状況について、保育士間の引継ぎ方法の工夫を期待したい。

子どもたちの小学校生活へのスムーズな接続に向けた指導計画を作成し、保育園での学びが生かされ、より円滑に小学校の生活や学習につながるよう園生活や活動の見直しを行っている。また、地域の小学校との交流会や小学校教諭の園訪問・情報交換等、積極的な連携を図っている。

1- (3) 健康管理

	第三者評価結果
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	㉠・b・c
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㉠・b・c
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・㉠・c

(保育所版)

所見欄

マニュアルに基づき、集団生活の中で一人ひとりの子どもの健康管理を適切に行っている。

健康診断・歯科健診の結果は、速やかに関係職員や保護者に周知され、保育に反映されている。

アレルギー疾患のある子どもについては、医師の指示を受け適切な対応を行っている。また、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに研修等を行い、全職員が必要な知識や情報を得た上で適切な対応が行えるように努めている。

1- (4) 食事

	第三者評価結果
A-1-(3)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㉠・b・c
A-1-(3)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	㉠・b・c

所見欄

年間の食育計画を作成し、年齢に応じた食育体験を取り入れ、子どもたちの食への興味・関心が広がる取組みや給食の展示・試食会、給食だよりの発行等、保護者への食育推進に努めている。

地産地消や旬の食材を取り入れることを心がけ、季節感のある献立にしている。調理員が、子どもの食事の様子を見たり、毎日の給食メニューの栄養素を掲示し、子どもたちに栄養成分等をわかりやすく伝えたりしている。マニュアル等に基づいた衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

2- (1) 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㉠・b・c

所見欄

送迎時のやりとりや連絡帳等を用いて、家庭との日常的な情報交換を行っている。クラス懇談・個人懇談や行事等で、保育の意図や内容、保育士の思いや考えを伝え、保護者の理解を得る機会を設けている。また、子どもの成長を保護者と共有できるように、様々な機会を通して家庭との連携を行っている。

2-(2) 保護者等の支援

	第三者評価結果
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㉠・b・c
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害のある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㉠・b・c

所見欄

保護者等からの相談に柔軟に対応し、個別面談や子育て相談等の個別の支援を行い、相談内容によって関係機関につなげる体制が整備されている。

虐待対応マニュアルに基づき、関係機関と連携を図り、虐待等権利侵害のある子どもの早期発見・早期対応を行う体制が整備され、虐待の予防に努めている。

A-3 保育の質の向上

3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・㉠・c

所見欄

保育士等一人ひとりの定期的な保育実践の振り返り（自己評価）を行っている。今後は、個別の自己評価に基づいた話し合いや学び合いを重ね、園全体の自己評価につなげ、組織的・継続的な保育の質の向上に向けた取組みを期待したい。